17 交通空白解消に向けたコミュニティバス運行支援OSS実装事業 ｜ 株式会社MaaS Tech Japan

プロジェクト概要

地方部の観光地等における交通空白の解消を目的として、国土交通省が整備するコミュニティバス運行支援キット（OSS）を活用し、地域における運行管理業務を支える仕組みを整備する。OSSの標準機能を実装することで、コミュニティバスの導入・運行管理に伴う業務負担の軽減・効率化を図り、既存交通のサービス品質向上および新規交通の導入を促進する。

課題

- 地方の観光地では、特に夜間に温泉宿泊街と繁華街間で交通空白が存在している
- 地域が単独、または関係者が連携してバス導入・運行を検討する際、運行管理業務の設計・実施に係る負担が大きく、導入の障壁になったり、導入後の収支率・サービス品質などの運用改善が進みにくい状況がある。

取組内容

- 地方公共団体、または地域関係者がコミュニティバス運行管理を実施できるよう、「コミュニティバス導入・運行支援システム」を構築する（国公省が定める「コミュニティバス運行支援キット」に準拠）
- 検証として、兵庫県洲本市にて、夜間シャトルバス（別事業の実証運行）において本システムを利用いただき、業務の負担軽減・効率化の効果と取得データの有用性をはかる※
  - 運行委託事業者（バス事業者）に本システムを利用いただき、現行の業務も踏まえたフィードバックをいただく
  - 運行計画・運行実績・利用実績を取得する
  - 取得した計画・実績データを、複数の宿泊事業者共同での夜間シャトルバス本格運行の計画策定および説明・合意形成に検討材料として活用する

事業要件

- 標準業務モデルの導入によるサービス品質向上（標準化）

技術要件

- コミュニティバス運行支援キット

効果

- OSS実装によるコミュニティバス運行計画・運行管理・実績収集業務の効率化（目安20%の工数削減）
- 運行計画・運行管理・実績収集業務の標準化・負担軽減による多様な分野でのコミュニティバス導入の促進（観光・教育・福祉など）

事業実施自治体・エリア

兵庫県洲本市

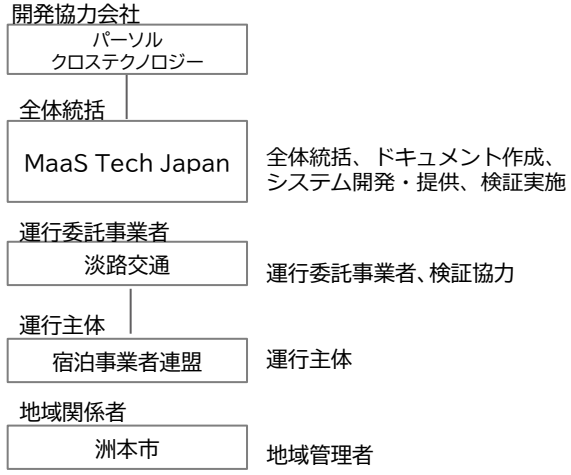
交通事業者

夜間シャトルバス運行委託事業者：淡路交通

アプリ・システム等

- アプリ・システム：コミュニティバス導入・運行支援システム（OSSを活用し構築）
- データの取得方法： システムから所得できるデータ（停留所一覧、時刻表等）
- データの活用方法：宿泊事業者共同での夜間コミュバス本格運行検討における企画・運行計画策定・説明・合意形成に活用

座組



スケジュール

5～6月	要件定義
7～9月	システム開発
10～11月	システム提供・検証
12月～1月	結果取りまとめ

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.